



Culture & Human Resources  
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

学部

経済学部/現代社会学部/商学部/経営学部/法学部/外国語学部  
国際文化学部/スポーツ健康学部/リハビリテーション学部

名古屋キャンパス

しろとり

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号

ひびの

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号

たいほう

GLOBAL LINKS/R-LABO

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝二丁目4番45号

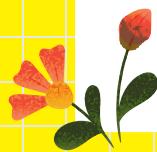
瀬戸キャンパス

〒480-1298 愛知県瀬戸市上品野町1350

お問い合わせ

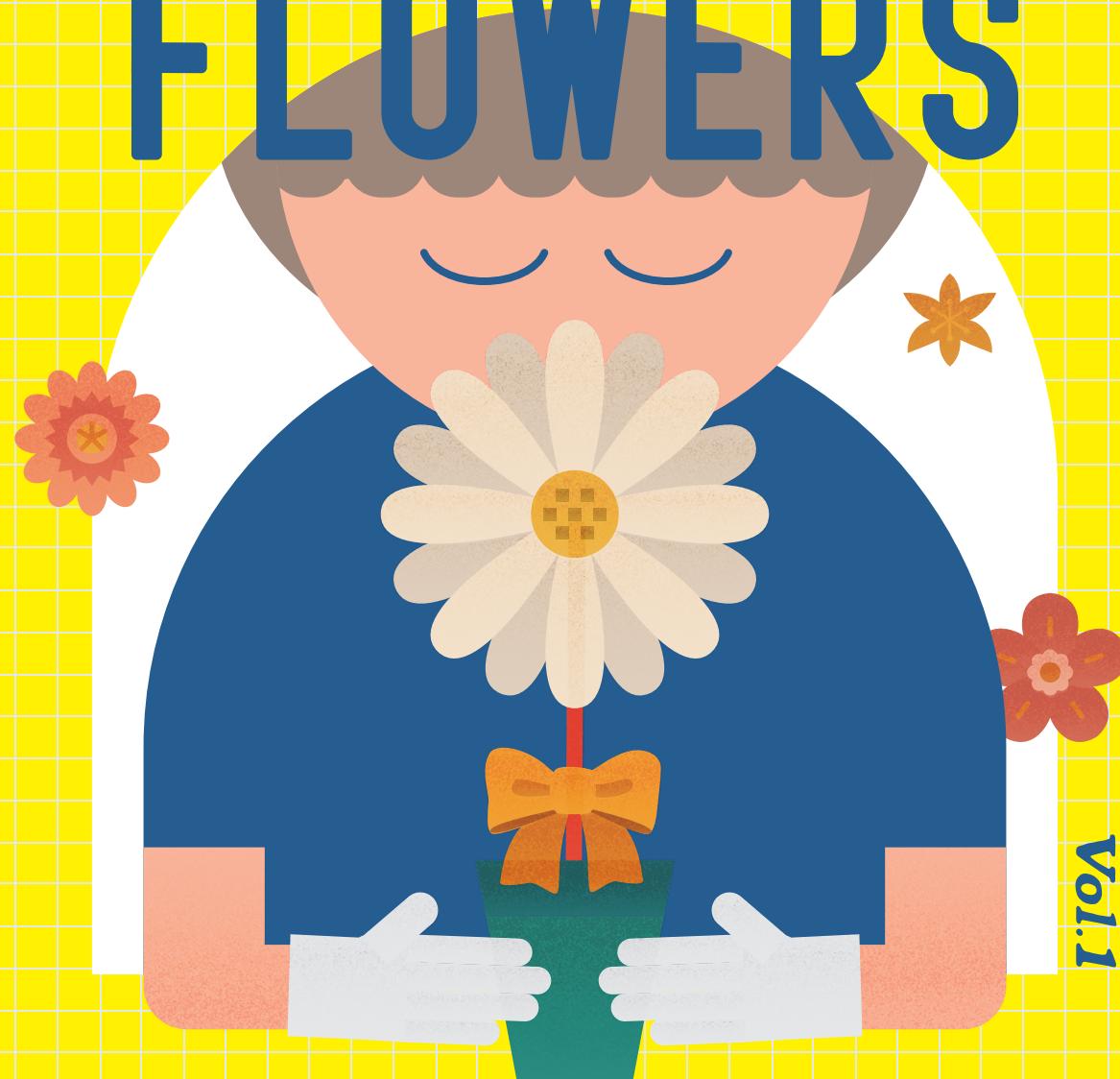
名古屋学院大学 広報室  
(名古屋キャンパスしろとり内)

TEL 052-678-4074 kouhou@ngu.ac.jp



学生のでつくったOBOGインタビュー雑誌

# FLOWERS



Vol.1

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

# SPECIAL TALK

## 編集部対談

新しいことにチャレンジしたい！  
という思いが、参加のきっかけ。

堺：「100%学生の力で1冊の雑誌を作る」という今回のプロジェクトだけ、まずは参加のきっかけはなんだった？

梅村：自分は「新しいことにチャレンジしてみたい」という考えが大きいかな。3年生ということもあって時間に余裕があるし、参加しました。

堺：私は、CCS※1で知ったのがきっかけ。就活のときにガクチカ※2としてもいかせると、友達と一緒に参加しました。参加してみてどうだった？

梅村：雑誌のタイトルやデザインをグループごとに大学スタッフの方へプレゼンするじゃないですか。メンバーからいろんなアイデアが出るので、それをひとつにまとめるのが大変でしたね。その分、いろんな考え方を知ることができて勉強にもなりました。

堺：プレゼンも面接みたいな緊張感があったよね。授業とかじゃなくて、学生のプレゼンを広報のブログが真剣にジャッジするっていう、とても貴重な経験でした。個人的に、自分のグループがプレゼンした「FLOWERS」というタイトルが選ばれたこともすごく嬉しかったです！

※1 CCS: 大学独自のポータルサイト。情報伝達や授業で使用

梅村：自分もプレゼンの経験が印象に残っています。ほかのグループのプレゼンを客観的に聞いて、説明はコンパクトにしたほうがいいのか、聞きやすい声のボリュームとか、いろんな発見がありました。この気づきは社会でもいかせると思います！

先輩への取材を通して、  
NGUの魅力を再発見！

堺：今回は、OBOGとの取材調整も私たち学生が進めたじゃないですか。それもすごく貴重な経験だったよね。

梅村：物流やインフラ、金融、IT、市役所や経営者など、自分たちが興味のある分野の企業の方と直接やりとりして取材を進められたのは将来にも役立つと思います。取材当日は、人事の方たちが質問しやすい雰囲気を作ってくれたので、思ったより緊張せずにすごく楽しい時間になりました！

堺：私は公務員の先輩を取材したんだけど、「名古屋学院大学には、学生主体のプロジェクトがあって、いろんなことに挑戦できる環境がたくさんある」と言われたことが印象に残っています。就活のときもキャリアセンターがすごくサポートしてくれるって言っていました。普段は気づかなかったことを卒業した先輩に言われてハッとしました。

※2 ガクチカ: 学生時代に力を入れたこと

梅村：自分が取材した先輩は、サッカー部のキャプテンを務めていたのですが、そのときの経験がまわりへの指示出しなどでいきていると言っていたことが印象に残っています。自分も日本拳法部のキャプテンを任されていて、その経験が社会でどうつながるのかが見えていなかったで、未来の自分が想像できてよかったです。

この雑誌を読んで、  
自分の可能性を広げてほしい！

梅村：最後にプロジェクトに参加した感想と高校生へのメッセージで締めくくりましょうか。

堺：私はこのプロジェクトが自己分析にもなったと思っています。自分で考えたアイデアをもとに周りの人と一緒に何かを作る経験を通して、「私はこういうこともできるんだ！」って、自分の知らない新しい一面を知ることができ、自身の可能性が広がった気がします。

梅村：タイミングが合い、新しい挑戦ができて本当によかったです！名古屋学院大学には、こういうことに挑戦できる環境がたくさんあるので、積極的にみなさんも挑戦してほしい。視野を広げる経験がたくさんできます。世の中には、いろんな仕事、幅広い選択肢があることを伝えたいです！



ABOUT  
**FLOWERS**  
100%学生の力でつくった雑誌

様々な個性をもった先輩たちが、社会で活躍し、花ひらいている様子を「FLOWERS」というタイトルで表現しました。咲いている場所も、花開く時期も、かたちも、色も違う花たち。学生は、まだどんな花が咲くかわからない可能性に満ちた「つぼみ」です。先輩たちが学生時代にどのような経験を積んで、いま社会に出て自分の花を咲かせているのか？本誌を通して、その姿を高校生に伝えたいです。

新しい自分を発見でき、  
可能性が広がった！

少し先の  
未来が想像できた！

国際文化学部3年  
堺七海さん

趣味は音楽を聴くことで、気分ではいろんなジャンルの音楽を聴いています。特に好きなアーティストはYOASOBIです。将来は、航空系の仕事に就きたいと考えていて、TOEICと簡単な中国語を勉強中！

国際文化学部3年  
梅村曜平さん

趣味は海外旅行。特に最近は大イへ行くことにハマっていて、自分の視野を広げるために、1年間で3回も行ったほど。将来は、日本だけでなく海外でも活躍できる人間をめざしている。

経済学部卒業

後藤 大介さん

GOTO DAISUKE

## 会社経営者

株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブの代表取締役社長。総合型スポーツクラブとして、サッカー・バレーボール・バスケットボール・野球など11競技24チームを運営し、約900名の選手が所属している。



強い情熱をもって  
何事にも取り組む



法学部卒業

河村 圭真さん

KAWAMURA KEIMA

## 名古屋市役所

名古屋市は、人口230万人を超える政令指定都市で、規模の大きな事業から地域密着の基礎自治体としての仕事まで、業務は多岐にわたる。各区役所では住民票や転入・転出届け、福祉・保健分野など、地域に密着した業務をおこなう。



挑戦しようと思えば  
何でも挑戦できる環境

1995 学生時代

2002 起業当初

2025 現在のこと

2020 学生時代

2024 仕事について

20xx 未来のこと

大学2年生のときに、友人とテニスサークルを作りました。設立メンバーは今でも友人です。当時、純粋に目の前の環境をひたすら楽しむ彼らの姿がとても印象に残っています。当時の私は冷静で少し冷めたところがありました。でも彼らの姿を見て、どんなことも考え次第で楽しめるのだと思いましたし、彼らから学んだ「前向きに考える。目の前のことを全力で楽しむ」というマインドは今も大切にしています。みなさんも、学生時代にチャンスがあったらとりあえず一歩踏み出してほしいです。若いときの失敗は、何度でもやり直せますから。まず進みだしてから考えればいいと思いますよ。



メーカーや商社勤務を経て、27才のときに貿易関係の会社を中国で起業しました。ただ、順調に起業できたわけではなく、1年目に人生最大のトラブルに直面しました。信頼していたパートナーに騙されたのです…。そのときは落ち込む暇もなく、「このままで終われない」という気持ちが強かったです。最終的には、いろいろな人の協力もあって解決できました。それ以降も、リーマンショックのときは売上が3分の1に落ちましたし、いろいろなトラブルが起こりました。でもそのときの経験のおかげで、「あのときに比べたら大丈夫！」という精神で、様々な壁や挫折を乗り越えることができました。

経営者の仕事は、売上を最大にして経費を最小にし、その差である利益を安定させていくことです。私は今、11競技24チームを運営するヴィアティン三重ファミリークラブを運営しています。スポーツクラブには、サポーターやスポンサー、地域住民、行政など多くの人たちが関わっています。その中でも、「自分が一番のサポーターだ」という気持ちで仕事に取り組んでいます。仕事や人生を、「考え方×情熱×能力」という方程式として表現することがあります。プラス思考で熱い情熱をもって取り組めば、能力の高い優秀な人も勝てる。その気持ちを忘れないようにしています。



学生自治会に参加していたことが思い出に残っています。主催する事業がたくさんあったので、人前で話すことや計画を立てる機会が多く、優先順位をつけて物事を進める癖が身につきました。社会に出ると様々な仕事を同時に進めていく場面があるので、このときの経験が役立っています。また、大学祭や自治会の活動など、学生主体で取り組むイベントがたくさんあることや、一人ひとりをしっかりと見て相談に乗ってくれる人がいることが名古屋学院大学の魅力だと感じました。みなさんも、挑戦しようと思えば何でも挑戦できる環境が整っているの、ぜひ積極的に行動してみてください！



市役所の仕事は、市民の方に安心して生活してもらるように支援をしていくことです。そのなかで私は、現在、生活保護担当として働いています。大きく分けて、「最低限の生活の保障」と「病気で倒産した方などが再度就労できるようにする自立の助長」の2つの事業があります。生活保護を受けている人に対し、仕事ができる人には復帰を促すのですが、支援者と一緒に仕事を探して社会復帰できたときなど、自立できるようになったときはうれしいですね。やっぱり生活保護を抜けてもらうことが一番なので、支援をした方が社会に出て生活していく姿を見ることが一番のやりがいです。

現在、私は入所2年目です。5年目にSV（スーパーバイザー）という課長補佐昇任選考を受けられるので、これから様々な経験を積み、その試験に挑戦しようと思っています。もちろん責任も大きくなりますが、その分きっと大きなやりがいも感じられると思います。また、市役所は定期的に部署を異動するので、ひとつの色だけに染まらないように意識しています。自分の中にある信念・芯を強くもち、今後、市役所内のどの部署に配属されたとしても、市民のみなさんのために働けるよう、多くの仕事を吸収できるよう、常に勉強と挑戦を続けていきたいです。



## START!

大学時代の思い出について教えてください!



大学時代は、友達と遊んだことが思い出に残っています。よくドライブやピリヤード、ダーツなどをしていました!



就職活動の軸にしたことって何ですか?



安定して働けることや、人事担当者との相性が、名古屋銀行を選んだ決め手です!



人事の方がいい人だったんですね!職場の雰囲気って大事ですね!



あとは、飲食店やカラオケでアルバイトをしていたので、そこで身につけたコミュニケーション能力もいかせました。現在の仕事でも、多くの人と関わりながら働いているので役立っています。



名古屋銀行の仕事について教えてください。



銀行は、人と人をつなぐ仕事です。銀行とお客様をつなぐのはもちろん、取引先の会社同士をつなぐこともあります。私は法人営業を担当していて、経営者を訪問し、主に預金・融資の提案をしています。



# 03 FINANCE WORK.



銀行は、人と人をつなぐ仕事

法学部卒業

吉田翔哉さん

## 株式会社名古屋銀行

1949年創業、愛知県名古屋市に本店を置く地方銀行。企業スローガンは「銀行業から未来創造業へ」。中小企業や地域住民向けに幅広い金融サービスを提供し、地域経済の発展に貢献している。

働く上で、大切にしていることってありますか?



相手の話をしっかり聞くことです。相手の話を最後まで聞いてから、最後に自分の提案を展開するように心がけています。



自分の意見を伝える力と同じくらい、聞く力が大切なんですね!勉強になります!



そうですね!新事業をやりたい、資金繰りが苦しいなど、お客様の悩みは様々です。相手の状況に合わせてプランを提案することが大切です!



最後に後輩の学生へメッセージをお願いします!



一言でいうなら「全力で楽しむ!」です。学生時代は、勉強も遊びも全力で楽しむことが大切です!様々な経験することで視野が広がり、多様な価値観やコミュニケーション能力が身につきます。ここで過ごすやりたいことに全力で挑戦できる4年間を、大切にしてください!



ありがとうございました!



## START!

大学時代に印象に残っていることって何ですか?



学生時代は、いろいろなことに挑戦しました。教職課程をとったこともそのひとつ。教育実習へ行ったことが思い出に残っています。相手に何かを伝えるには、準備がとても重要だということを学びました。



ゼミではどんなことを専攻したんですか?



ゼミでは、地元企業と協働して商品開発をおこないました。熱田区発祥の食べ物である「あつた鶏飯」を缶詰にし、災害時でも食べられるように防災食にアレンジして商品化したことが印象に残っています!



まだ入社して間もないと思いますが、働く上で心がけていることを教えてください。



仕事では、3秒迷ったらすぐに先輩に聞くことを心がけています。まだ、私は配属されて半年で、社会や会社の常識がわからない状況です。自分の経験から考えられる引き出しが少ないので、まずは先輩に聞いて知識を吸収するように意識しています。次に迷ったときに、解決策を考えられる引き出しとして知識や経験をストックしています。



# 04 ENERGY WORK.

商学部卒業

白野藍梨さん

## 株式会社トーエネック

「快適以上を、世の中へ。」というコーポレートスローガンを掲げ、総合設備企業として電力供給、電気、空調衛生、情報通信に関する設備工事から、太陽光発電などのエネルギー事業や住宅向け設備工事まで幅広く展開している。

暮らしや社会の発展を支える



白野さんの仕事を簡単に教えてください!



当社は、電気、空調、情報通信といった設備工事を通じてみなさんの暮らしを支える使命があります。その中で情報通信統括部に所属しており、請求書処理、各拠点の集約、社宅関係など部門全体の総括業務に携わっています。



電気は僕たちの生活に必要な不可欠ですね!最後に学生へ伝えたいことはありますか?



名古屋学院大学は、頑張っている学生へのサポートが充実していると思います。私も就活の際にキャリアセンターで手厚くサポートしてもらいました。留学制度も充実していて、外国語学部・国際文化学部でなくても留学サポートを受けられるところも魅力ですよ!



やる気に対して親身にサポートしてくれるのは嬉しいです!



そうですね!みなさんがやってみようと思ったことを全力で応援してくれます。先生と学生の距離が近いところも魅力ですし、その環境をぜひ活用してください!



ありがとうございました!



# 様々な産業と人々の生活を支える

スポーツ健康学部卒業  
木村壮太 さん

Supporting various industries and people's lives with the power of logistics.



## 01 QUESTION. 学生時代の経験

サッカー部での日々が印象に残っています。1年のときから積極的に声を出してチームを鼓舞するタイプだったこともあり、キャプテンに選ばれました。キャプテンを経験したことで、チームをまとめる統率力、マネジメント力が養われたと思います。3年のときに全国大会出場を達成できたことが一番の思い出です。キャプテンを務めながら教職課程や講義を受けていたので、順序立てて効率的に物事を進める姿勢が自然と身につきました。今でも仕事のタスクをためないことを意識しています。おかげで、様々な仕事があるなかでも通関士の資格を取得できました。



## 03 QUESTION. 学生へのメッセージ

学生生活を通してできた仲間や交友関係を大切にしてください。そして、勉強も遊びも全力で取り組み、メリハリのある日々を過ごしてください。あとは、学生時代の様々な経験を通して自分の強みを見つけたいです。そして、今しかできないことを頑張って、後悔のない学生生活を送ってください!

## 02 QUESTION. 現在の仕事について

私は港湾物流部に所属し、輸出入のコンテナの管理をしています。名古屋港は、日本最大のモノづくりエリアを支える貿易港です。そのため名古屋港での作業はとても重要で、そこで各地域の港と連携してコンテナの在庫を予測し、空コンテナを手配します。物流はチームワークがとても重要な仕事です。自分を中心となり検査員、作業員だけでなく、他社とも協力しながら業務を進められることにやりがいを感じています。



Job. LOGISTICS

### 名港海運株式会社

産業や人々の生活を支える重要な場所である名古屋港を拠点とする、港湾運送事業を中心とした国際総合物流企業。地域社会への貢献を経営の理念とし、輸出・輸入、倉庫保管、通関、建設など様々な事業を展開している。

# 人にしかできない仕事をITの力で

商学部卒業  
森野菜水 さん

Work that only humans can do with the power of IT.



## 01 QUESTION. 学生時代の経験

大学時代の一番の思い出は、企業と商品開発をおこなったゼミ活動です。同じゼミの仲間とともに資料を作成し、大学内のプレゼン大会で発表した経験は、企画力やプレゼン能力を磨くいい機会となりました。また、学生時代に結婚式場やパン屋、新聞社の庶務など、多様なアルバイトを経験したことも印象に残っています。幅広い世代の人とコミュニケーションをとりながら仕事を進めることが多かったため、社会人として必要なスキルを身につけることができました。特に、仕事をスムーズに進めるための人間関係の構築は、現在の職場でも非常に役立っています。



## 02 QUESTION. 現在の仕事について

いま人がおこなっている単純作業やルーティンワークを自動化させるRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用し、システムを開発しています。私たちの仕事は、企画を考える、アイデアを出すなど、「人にしかできない仕事をする時間」をITの力を使って作ってもらうことです。直接、顧客の方とやりとりをしてシステムを納品したあと、感謝の言葉をいただくことが大きなやりがいにつながっています。



Job. SYSTEM

### 株式会社システムリサーチ

東証プライム市場上場企業として、1,000名を超える技術者と40年以上の実績で、独立系Sierだからできる顧客密着の最適なSIサービス・プロダクト&サービスの提供、ソフトウェア開発を展開し、「確かなシステム」を実現している。

## 03 QUESTION. 学生へのメッセージ

学生時代は、しっかり勉強して、アルバイトして、たくさん遊べばいいと思います!そして、いろいろなことに挑戦してほしいです。新しい挑戦をすると、もちろん失敗することもあると思います。でも失敗したからこそ、そこで得られる知識もあるはず。私は社会に出てからも、失敗して得た知識がたくさんあります。何もやらずにその場にどまっているよりも、様々な経験を通して知識や経験を得て、自分の視野を広げることがとても大切です!



EDITOR'S VOICE

# 編集後記

取材の調整から、原稿制作、原稿校正まで  
すべて学生の力でおこないました！



## 先輩の話が、進路のヒントに

取材を通じて、先輩がどんな思いをもち、どんな経験を積んできたのかを深く知ることができ、原稿にまとめる過程で多くのことを学びました。どのようにキャリアを築いてきたのかを聞くことで、自分の進路のヒントを得ることができました。また、学生が主体となって活動を進められたことが非常に楽しく、達成感も大きかったです。限られた時間の中で、メンバーと協力しながら活動できて有意義な経験となりました。

MEMBER 青木かのん / 堺七海



## 新しいことに挑戦する自信ができました

このプロジェクトでは、学生が中心となって雑誌のタイトルやデザインのアイデアを出し、OBOGへの取材をおこないました。取材調整も私がおこなったのですが、企業と直接何かをした経験がなかったので最初は不安でした。しかし、周りの協力もあり調整から取材まで無事に終えることができました。このプロジェクトに参加し、新しいことに挑戦する自信が付き、様々な経験を積むことの大切さを学ぶことができました。

MEMBER 香西雄太 / 宮崎友慎



## 社会人のような経験ができ、成長を実感

チームでのプロジェクトの進め方、そしてその楽しさを経験できました。慣れないことばかりで、特に企業の方とのやりとりはとてもしんじを使いましたし、先輩の活躍をどうすればうまく表現できるかを考えるのが大変でした。ですが、そのおかげで社会人のような経験ができて得るものが多く、充実した時間を過ごすことができました。参加してみても一皮剥けた気分です。このプロジェクトに関わった方々すべてに感謝したいです。

MEMBER 大原ももか / 齋藤優衣 / 城山愛季 / 三浦佳歩



## 社会で役立つ知識が身につきました

このプロジェクトに参加したことで、電話対応の仕方や企業とのメールでのやりとりのマナー、言葉づかいなど、社会に出たときに必ず必要になってくる知識が身につきました。私は経営者の先輩を取材させていただいたのですが、活躍している先輩と対面でコミュニケーションをとれたことは非常に貴重な経験でした。学生時代に大切にしたいほうがいいことなどを、直接聞くことができるとても刺激的な時間でした。

MEMBER 宮崎友慎 / 香西雄太



## 学生生活のモチベーションアップに

雑誌制作を学生主体でおこなうことで、普段感じることのない責任感をもつことができましたとともに、他学部の学生と協力しあい仲を深めることができました。完成した雑誌は高校生が手に取りやすいデザイン、簡潔な文章で読みやすいものになったと思います。先輩の職場に訪問し、学生生活の話や就職活動のポイントを教えていただいたことで、残りの学生生活や就職活動へのモチベーションが高まりました！

MEMBER 市岡蒼太 / 鍋島茉莉 / 西川司 / 早川ちはる / 藤田晴 / 松田周斗



## すべてがワクワクする体験でした

感想を一言で表すと、「ワクワクした」です。雑誌のデザインやタイトルを決めるとき、企業の方と連絡をとって取材に行ったとき、記事が完成したとき、そのすべてが新しい体験ばかりでワクワクしました。中でも実際に取材へ行き、コンテナのスケールの大きさを目の当たりにした際は「こんなに大きなものを扱っていてかっこいい、私も先輩方のように働きたい」と思いました。大学生生活の思い出となるいい経験ができました！

MEMBER 梅村曜平 / 久米紗楓 / 成田恭一

未来のヒントが  
たくさん開けた！

